

牧師所感：同胞を切り捨てた北朝鮮

—韓国を「第一の敵対国」—

北朝鮮が最近、同胞の韓国を「第一の敵国」と位置づけをした、と世界に向けて宣言した。金正恩総書記は、世界に向けて何度も韓国を敵国と位置づけたと強調したあげく、「第一の敵対国」と憲法に明記した。

ところで北朝鮮にとって韓国は、正真正銘「第一の敵対国」となった。敵対国となつた以上、核を持った北朝鮮が、いつ侵攻して来るのか、誰も分からぬではないか、と恐れている。振り返って、1950年6月25日に勃発した韓国動乱（韓国では動乱と称す）を思い起す。筆者は従軍して、戦った経験があるのでなおさら心配だ。朝日新聞社説では最近北朝鮮は、「韓国を『敵』と位置づけた。『ソウルとの悪縁を断つ』として韓国とつながる道路や鉄道を爆破。核…ミサイル開発の進展も誇示し続けている。対決をあおって朝鮮半島の緊張を高める行動は断じて容認できない」（朝日新聞社説「2024.10.19」）

さて、世界の国々の中で、同じ同胞が戦って、おびただしい犠牲を出し乍ら、分裂せず、一国にまとまって強国を築いたアメリカ合衆国を思い起す。

ところで我が国 Korea は、悠久の歴史を誇る白衣民族である。ところが北朝鮮は、南韓国を「第一の敵対国」として位置づけた。何と悲しいことか。ところで北朝鮮は、キリスト者を迫害する国となった。信仰の（キリスト教）自由がない北朝鮮の同胞のため、長い間祈りを捧げて来た Korea を、主なる神様は決して見殺しにしないであろう。キリスト者の祈り。

聖なる神よ。我が祖国 Korea を祝してください。全世界の国々の人々が、戦争のない平和な国になるように祝して下さい。聖名によって、アーメン。